

▶ 02 - 03 [6月定例会の概要]

▶ 05 - 15 [一般質問]

▶ 04 [審議結果]

▶ 16 [特集]

豊橋市のこんなことが
決まりました

市政の課題は？

一般質問

発行：豊橋市議会
編集：豊橋市議会だより編集委員会
〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL：(0532)51-2920

とよはし市議会だより UP! | アップ |

みんなの“?”を、みんなの“!”に

8 | 1

August 2017

No.310

特集

豊橋のまちづくり

わがまちの未来を考える

▼16ページ



写真撮影：豊橋技術科学大学 写真部

平成29年6月定例会の概要

◆ **6月定例会 議案審議** ◆

会期 12日間 6月12日～23日

豊橋市の こんなことが決まりました



議案の提案理由を説明している様子

6月定例会の議案は

市長提出議案…14件

議員提出議案…3件

合計17件

今号では
この中から
5つを
Pick up!

議案の内容、審議結果については
4pの一覧をご覧ください。

豊橋市歌の斉唱を行いました

本会議最終日に議場において豊橋市歌の斉唱が行われました。

当日は先人への敬意、豊橋市への郷土愛をより深める場として、議員、理事者、市民が一緒になって機運を盛り上げ、本市の一層の発展を願いながら市歌を斉唱しました。

豊橋市歌の作詞補詞は本市にゆかりの丸山薫さん、作曲は「オリンピックマーチ」など数多くの名曲を残された日本を代表する作曲家の一人である古関裕而さんです。

古関裕而さんの妻、金子（きんこ）さんは本市出身であり、現在、彼女の偉大な作曲家との出会いや特別な人生を描くことをテーマにしたNHK連続テレビ小説の放映を、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に実現するために古関裕而さんの出身地である福島市と連携し官民一体で運動が展開されています。



市歌斉唱の様子

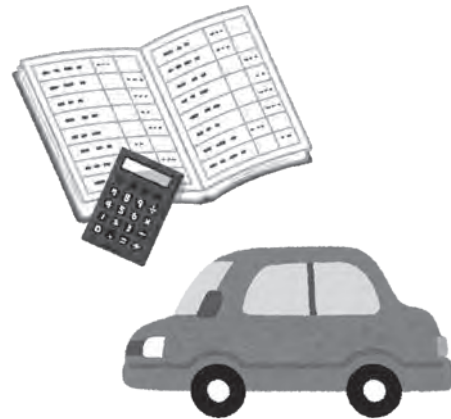
軽自動車税のグリーン化特例(軽課)の 延長等、市税条例の内容を一部改正します

●議案

豊橋市市税条例の一部を改正する条例

●概要

地方税法等の一部が改正されたのに伴い、固定資産税および都市計画税の課税標準の特例、個人市民税および軽自動車税の特例の延長等を定めるため、現行条例の一部を改正するものです。



多機能型起震車を購入します

●議案

物品購入契約締結について
(多機能型起震車)

●概要

地震体験に用いる起震車の老朽化に伴う更新のため、多機能型起震車を購入します。

多機能型起震車とは

南海トラフ地震に備え、市民の防災意識の向上を図り、災害への備えを推進するために地震の揺れを体験していただく車両です。また、災害時の応急活動のための発電機能も備えています。



多機能型起震車のイメージ

人権擁護委員候補者の推薦・農業委員会 委員の任命について審議しました

●議案

人権擁護委員候補者の推薦について

●概要

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、平成29年9月30日に任期満了となる者の後任として、人権擁護委員候補者を推薦するため、議会の意見を求めるものです。

●議案

農業委員会委員の任命について

●概要

農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により、平成29年7月19日に任期満了となる現委員の後任として、農業委員会委員を任命するため、議会の同意を求めるものです。

予算の補正を行います

●議案

平成29年度豊橋市一般会計
補正予算(第1号)

●概要

歳入・歳出をそれぞれ19億4461万2000円減額し、予算の総額を1204億9538万8000円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

災害用ドローンの購入、保育園認定こども園17園の防犯対策強化に対する助成、交通児童館の木製玩具の購入、先端農業技術を活用した施設園芸の普及に向けた取り組み支援、農産物生産の収益力向上に取り組む生産者への支援、体育の授業における問題解決や体力向上のための運動プログラム・指導プログラムの開発など。



平成29年度 6月定例会 審議結果

○=賛成 ×=反対

件 名	議 決 結 果	会 派 名 ()内は所属議員数					
		自由民主党 (21)	公明党 (5)	まちなみフォーラム (4)	日本共産党 (3)	結 基 会 (1)	豊橋だいき会 (1)
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度豊橋市一般会計補正予算(第1号) 平成29年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第1号) 	可決	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 豊橋市市税条例の一部を改正する条例について 豊橋市民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 豊橋市道路占用料条例の一部を改正する条例について 豊橋渥美都市計画事業豊橋前田南土地地区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例について 豊橋市都市公園条例の一部を改正する条例について 	可決	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 工事請負契約締結について(3号炉維持整備工事) 物品購入契約締結について(多機能型起震車) 物品購入契約締結について(ごみ収集車) 物品購入契約締結について(救助工作車) 	可決	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員候補者の推薦について 	異議はない	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会委員の任命について 副市長の選任について 	同意	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現を求める意見書 ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書 車両運転中における「ながらスマホ」防止のための対策強化を求める意見書 	可決	○	○	○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 憲法をいかにして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情 認可外保育施設の保育料について補助を求める陳情 小中学校の教室へエアコン設置を求める陳情 公共施設等におけるトイレのユニバーサル化を求める陳情 ゾウの群れ飼育計画について見直しを求める陳情 設楽ダム建設計画の見直しについて意見表明を求める陳情 旧生活家庭館の閉館後、「解体せず・用途変更して活用する」ことを願う陳情 豊橋駅前における受動喫煙から市民の健康を守るための陳情 	当局において慎重に検討し処置されるよう要望することに決定。						

平成29年度 委員会の調査・研究事項

委員会では議案審査だけでなく、市民生活に関わる課題について調査・研究を行っています。
今回の常任委員会では平成29年度に調査・研究を行う項目が決定しました。



● 総務委員会

- 第10次豊橋市交通安全計画(アクションプラン)の改訂について
- 次期男女共同参画行動計画の策定について

● 福祉教育委員会

- 豊橋市斎場整備・運営事業について
- 国民健康保険事業の広域化について
- 東三河広域連合第7期介護保険事業計画(案)中間報告について
- 高齢者福祉計画の策定について
- 障害者福祉計画・第5期障害者自立支援事業計画・障害児福祉計画の策定について
- 健康とよはし推進計画(第2次)の改訂について
- 豊橋市歯科口腔保健推進計画(仮称)の策定について
- 豊橋市母子保健推進計画(第2次)の改訂について
- 学校給食共同調理場再整備計画について

● 環境経済委員会

- ごみ分別制度変更後の状況について
- 今後のごみ分別制度について(仮称)
- 海外販路開拓の取り組みについて

● 建設消防委員会

- 豊橋市立地適正化計画～居住誘導区域編～(案)について
- 豊橋市空家等の適切な管理に関する条例の考え方について
- 豊橋市街路樹再生指針(案)について
- 豊橋市住宅マスタープランの中間見直しについて
- 豊橋市上下水道事業の現状と課題について

※調査・研究事項は予定であり、委員会を開催しない場合もあります。傍聴の際は、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局議事課(電話51-2920)までお問い合わせください。

市政の課題は？

一般質問

(6月定例会では19人の一般質問が行われました。)



一般質問とは？

一般質問とは、市民生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市長などに対して、疑問を問いただし、所信の表明を求めるものです。豊橋市では年4回の定例会でのみ一般質問を行うことができます。

豊橋市議会の一般質問のルール

一般質問には、決められたルールがあります。

● 制限時間は60分 ●

一般質問には制限時間があり、質問と答弁を合わせて、一人につき60分です。残り時間は議場内のモニターに表示されています。

● 質問通告制 ●

議員は、どのような質問をするのか、要旨をあらかじめ議長に通告します。質問項目は豊橋市議会のホームページに掲載されますので、傍聴の参考にしてください。

● 質問の順番 ●

質問を行う順番はあらかじめ抽選によって決めています。日にちや順番を希望することはできません。

一問一答方式・一括質問方式

一般質問では質問をする際に一問一答方式と一括質問方式のどちらかを選択して質問を行います。

一問一答方式では質問の項目ごとに質問と答弁が交互に行われます。一括質問方式では質問する項目をまとめて一度に質問し、答弁者はそれぞれの項目に対して順番に答弁を行っていきます。

一般質問では、どちらの方式で質問をしているのかも注目してご覧ください。

一般質問の情報を
ホームページで公開しています。

詳しくは

豊橋市議会

検索



◆ 一般質問の日程

◆ 議会の映像配信

◆ 会議録の検索

etc.

一般質問

転出超過増と

まちの持続可能性について



自由民主党豊橋市議員
豊田一雄 議員

問 平成28年における豊橋市の日本人移動者の転出超過数が、日本で18番目に多いという結果だった。持続可能なまちであるためには、さまざまなことを学びに市外へ出た子どもたちが、帰ってくることでできる条件を考えることが必要。そこで、まちの持続可能性を高めるための方策などについて聞きたい。

答 転出超過の要因については、近隣の大手製造業の期間従業員の削減や豊川市での宅地分譲の増加などが、少なからず影響していると推測しています。転出される世代の多くは、これから家庭を持ち、子どもを育ていく世代であり、自然動態へのマイナス影響や地域コミュニティの衰退といったさまざまな問題が深刻化する懸念をはらんでおり、今回の結果は看過することができないと認識しています。また、期間従業員の削減は生産量の縮小によるところが大きく、本市製造業全体に対し、生産および雇用の両面から縮小方

向に影響を及ぼすと考えられます。

持続可能なまちづくりについて、自分たちの暮らすまちへの愛着や誇りは「住み続けたい」「また戻ってきたい」という思いを育むために大切なものと考えています。また、若い世代が望むまちとは、やりがいのある仕事に恵まれ、結婚後も安心して生活でき、将来に希望が持てるまちであると考えています。

そして、多様な業種による更なる産業集積は大切な視点であり、産学官交流や異業種連携による新事業創出、成長分野における新技術開発などの支援を通じ、新たな産業の受け皿となるクラスター形成にも取り組んでいきたいと考えています。主役は事業者の皆様ですが、行政はその環境づくりに力を入れていく必要があると考えています。

その他の質問項目

・新しい公会計制度の有効活用の方策について

食品ロス削減の

取り組みについて



まちフォーラム
星野隆輝 議員

問 全国で食品ロス削減のために3010運動やドギーバッグなどによる持ち帰り運動、フードバンクとの提携事業などが推進されている。

市民生活における消費行動のあらゆる場面で、食品ロスを出さないためにどうするのかという意識の醸成について、その認識を聞きたい。

答 食品ロスを減らすことに当たっては、まず市民に「無駄をなくす」「もったいない」といった気持ちを持つていただくことが大切であると考えています。そうしたことから3010運動など、外出時や家庭での取り組み方法を紹介しながら、食品ロスを減らすことの大切さを多くの方に認識していただき、「無駄をなくす」「もったいない」といった気持ちを育むよう、啓発に努めていきたいと考えています。

食品ロスを減らすことは、ごみ減量に直接つながるものであり、ごみ処理費用の削減やごみ処理

施設の延命化にも効果があることから、ごみ行政においても大切な取り組みであると認識しています。

また、食品ロスが減ったとしても食品廃棄物が全てなくなることはないので、ごみとして排出された食品廃棄物については、適切な分別を促し、バイオマス利活用センターにおいて、メタン発酵することで電気、炭化燃料など資源として活用していきたいと考えています。

用語解説

3010運動

宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみ、お開き10分前には自席に戻って再度料理を楽しみましょうと呼びかけ、食品ロスを削減するもの。

その他の質問項目

・豊橋市の目指す特色あるまちづくりについて

熊本地震後の 本市の防災対策について



無所属
川原元則 議員

問 熊本地震で避難所までたどり着けない人たちが発生したが、そのような人たちへの対応、また女性の防災リーダーを増やしていく考え方、さらに被災地派遣職員、防災講話等における活用について聞きたい。

答 いわゆる準避難所のような場所を事前に指定し、そこに避難する人がいることを前提とした対策を取っておくことが、熊本地震で問題となった避難所以外の避難者対策として、大変有効であると認識しています。現在、避難所から離れた地域や事業所が集積する地域において、準避難所の必要性や場所についての検討を行っているところですが、指定避難所への避難が原則となつていくことから、自主防災会をはじめとする地域の方々などと、避難所から離れた地域の在り方について十分調整することが重要と考えています。

また、女性の防災リーダーを増やしていく考え方については、地

域で積極的に防災を担う女性を育成するために、特に女性の防災リーダーがいない17校区を中心に、校区自主防災会などを通じて、防災リーダー養成講座の受講を継続的に呼び掛けていきたいと考えています。

被災地派遣職員の活用については、被災地で得た経験を市の業務で活用するだけでなく、市民の方々にも広く紹介することは、災害を身近に感じてもらうことができ、防災意識の向上につながると考えています。地域や学校などから派遣職員による防災講話等の希望があった場合、業務に支障のない範囲内で、被災地の状況や派遣で得た経験を市民の方々に伝えていくことは可能であると考えています。

その他の質問項目

・学校現場に関する本市の教育相談体制の充実について
・平成29年4月から「スポーツのまち」づくり課として新たにスタートしたが、「スポーツのまち」の考え方について

本市におけるトイレの 諸課題について



自由民主党豊橋市議員
伊藤篤哉 議員

問 本市を選ばれるまち、健康に暮らせるまち、子育てしやすいまち、災害に強いまちとするために、日々の「暮らしの質」の向上に最も身近な設備である「トイレ」について、女性の意見に十分に耳を傾けることのできる体制の環境整備等について聞きたい。

答 政府における「暮らしの質」向上検討会での議論の中で、女性が暮らしやすくするようなトイレへの転換という話があります。

今、国を挙げて、全ての女性が輝く社会づくりを進めていくというところに取り組んでおり、地域や社会が活性化していくために、また、全ての人々にとつて暮らしやすい社会を目指すためには、女性が活躍できる環境整備が必要です。

また、そのことは職場、あるいは家庭においても期待されているし、求められているのだろうと思います。

本市においても、今年度から女性が輝くまちづくりを進めてお

り、暮らしやすい環境づくりに、今回テーマとなっているトイレの清潔性、快適性、安全性については、女性の視点が大変貴重であると思います。

女性の視点が生かされてくれば、男性も含めて同様に暮らしやすい環境がつくられてくると考えます。

今後、施設の有効活用策として複合化等を進める中で、利用者の変化や日本人の体格の向上、外国人への配慮など、あらゆるニーズへの対応が必要と考えており、公共施設をはじめ、災害時における避難所のトイレ機能の在り方など、女性や職員、利用者の方々など幅広く意見を取り入れることが大事だと思っておりますので、どのような方策がとれるのか、今後必要に応じて検討を進めていきたいと思っております。

一般質問

働き方改革について

問 本年3月、国の働き方改革実現会議は実行計画工程表を発表した。働き方改革は、日本人の働く意識そのものの改革に挑戦していこうという旗印である。健康で働きやすい職場環境づくりを主眼に、本市の働き方改革の取り組みの現状、時間外勤務、ICTの活用による勤務時間管理について聞きたい。

答 本市では、マイスタイル勤務の導入、育児参加休暇や介護休暇の充実といった本市独自の制度面での改善に加え、朝礼や終礼の実施により、時間効率を意識した働き方について職員の意識改革に取り組んでいます。今年度は、外部の専門家によるコンサルティングを実施し、職場の特性に応じた改善に取り組んでいます。

時間外勤務については、これまでのノー残業デーや業務改善運動の実施のほか、事前申請による計画的な時間外勤務とすることなどで業務の平準化に努めることな



自由民主党豊橋市議団
尾崎雅輝 議員

ど、働き方改革に向けたさまざまな取り組みにより、増加傾向から横ばいへと徐々に変化しています。

事前申請を行わず、勤務時間外や休日に勤務している職員の勤務時間の把握方法については、ICTの活用が大変有効であると考えていますので、既に国で導入されているマイナンバーカードと一体化したICカード身分証なども参考に、既存の人事給与システムとの連携を踏まえ、導入に向けての検討を進めています。



生ごみ分別収集の

現状と今後について

問 平成29年4月から生ごみ分別収集が始まったが、地域の皆さんから負担に感じるといふ声も聞こえる。もやすごみの翌日が生ごみの地域は、もやすごみと一緒に出すなど、生ごみの収集が困難になると予想される。生ごみ分別の意義や効果などをPRすることで分別が進むと考えるが認識について聞きたい。

答 家庭系生ごみの分別収集は、従来のもやすごみの中に排出されていた生ごみの量や、バイオマス活用センターの安定稼働といった観点から設定した1日当たり49トンを集目標量として取り組みを始めました。5月末時点の総収集量は約2449トンで、収集目標量の約2989トンに対し約82%の達成率となっています。また、出された生ごみは分別ルールがほぼ守られており、家庭系生ごみの収集については市民の皆様の御協力の下、おおむね順調なスタートが切れたと考えています。



自由民主党豊橋市議団
近藤修司 議員

しかし、現時点において生ごみ受け入れ目標には達しておらず、かつ依然もやすごみの中に生ごみが見受けられる状況であるため、引き続き8月から始まる事業系生ごみの受け入れと合わせて目標量が安定的に確保できる状況を目指していきます。

未利用バイオマスをメタン発酵処理し、発生するバイオガスを活用することで、年間で一般家庭の約1900世帯分の発電が可能となり、年間1万4000トンのCO2が削減されます。また今後20年間で約120億円のコスト削減が図られ、焼却施設の更新など他の事業の充実が図られます。これらの情報を発信し、市民の理解を得ることはごみ出しルールを定着させ促進する上で大変有効な手段であると認識しています。

その他の質問項目

- ・リユースされるアスリートファーストの陸上競技場について
- ・とよはし健康マイレージと健康について

大規模災害時の 避難所対応について



公明党豊橋市議団
鈴木 博 議員

問 災害時、避難所施設のがスが使用不能になった場合、乳児のミルクをつくるためのお湯の確保が厳しくなると想定される。

答 災害時の避難所生活において、乳児のミルクや薬の服用に必要となるお湯、温かい飲み物を避難者に提供することは、健康面などにおいて有効であると考えています。災害対応型の自動販売機は、ライフラインが機能できている状況であれば手軽にお湯や温かい飲み物を提供することが可能となることから、設置に関する条件や手法などについて、今後勉強してまいります。

また、小型プロパンガスボンベについては、避難所において炊き出しや給湯のための燃料を確保する方法の一つと言えることから、備

蓄など用意する方法について検討してまいります。

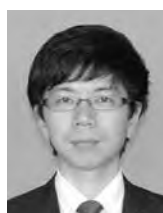
また、小中学校の家庭科室を有効利用することにより、お湯や飲み物等を提供できると考えています。そこで、今後校舎の大規模改修工事を行うときには、2階や3階にある家庭科室を1階へ配置を変えるなど、災害時の有効活用も視野に入れた整備を行っていききたいと考えています。



その他の質問項目

- ・学校教育の諸課題について
- ・デザインマンホールの蓋及びマンホールカードについて

東京五輪を迎える 豊橋市の対応について



豊橋だいすき会
長坂尚登 議員

問 ホストタウンとして東京五輪を迎える豊橋市の対応について、LGBT等に関する対応、民泊の推進、受動喫煙防止対策について聞きたい。

答 LGBT等に関する対応については、現在改訂作業を進めている男女共同参画行動計画に、市民への周知を図る取り組みを盛り込み、市民が性別にとらわれず、誰もが心豊かで安心して暮らせる環境づくりを最優先で進めることが重要と考えています。まず、2020年に開催される東京五輪に備えて、本市においても、偏見をなくし、認め合うまちづくりを進めていくことが必要だと考えます。

民泊の推進については、東京五輪を迎えるに当たり、訪日外国人旅行者も増加することが予想され、今後は民泊事業者の動きやニーズの高まりなどを見ながら、必要に応じ民泊の推進を考えてまいります。

受動喫煙防止対策については、

従来からの啓発活動をより活性化させ、受動喫煙防止対策の更なる強化が必要と考えます。市役所等の公共施設、運動施設や公園の敷地内禁煙、飲食店の屋内禁煙等、関係各課とともに市民・企業等へ働き掛け、屋内、屋外を問わず受動喫煙防止対策を推進してまいります。

また、受動喫煙防止対策に関する本市独自の条例制定については、国の動きの見極めが大変難しい中ではありますが、条例制定の検討も含めて、市民の健康を守るため、関係各方面に働き掛け、受動喫煙防止対策を進めていきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・公共空間の民間活力による活性化について
- ・豊橋市立家政高等専修学校について
- ・豊橋市教育課題検討会議報告書「豊橋市における人口減少化に対応した学校のあり方について」について
- ・式典等の見直しについて
- ・市職員の地域活動の奨励について

一般質問

学校トイレの洋式化について

公明党豊橋市議団
沢田都史子 議員

問 授業に集中できるように、子どもにとって望まれるトイレの改善をスピード感を持って進めるべきだと考えるが、学校における

トイレの教育的価値および洋式トイレの必要性の認識と今後の学校トイレの整備の考えについて聞きたい。

答 学校における教育的価値については、学校が教育の場である以上、トイレも子どもたちが公衆衛生や公衆道徳を学び、心を成長させることのできる大切な学習の場にしていかなければならないと考えています。

そのため、教育研修の一つとして、豊橋掃除に学ぶ会の協力を得て、学校のトイレ掃除を行っており、徹底した掃除の仕方を学ぶとともに、社会や人のために貢献することの意義や価値を感じ取ることができる場を設けています。

また、本市小中学校のトイレ洋式化率は36.3%であり、文部科学省が行った公立小中学校施設

設のトイレ状況調査の結果から、県内、全国平均よりも低い水準となっております。

近年、家庭や商業施設等で急速に洋式トイレが普及している中、小中学校においても、和式トイレに不慣れな子どもたちのストレスや健康面への配慮から、トイレを洋式化していくことは重要な教育課題であります。

また、学校や各種団体から寄せられる学校施設に関する要望も、トイレに関するものが常に上位を占めていることから、トイレの洋式化について、校舎やトイレの大型改修工事を計画的に行う中で、和式トイレから洋式トイレへ全面的に改修を行っていきませんが、それまでの間は、必要に応じて適宜、学校独自に簡易洋式便器を設置していくなどの必要な対応を行っていきたいと考えています。

その他の質問項目

・「くすのき特別支援学校」を中心とした特別支援教育体制について

豊橋市の国民健康保険

行政について

日本共産党豊橋市議団
鈴木みさ子 議員

問 市町村が運営主体であった国民健康保険事業を来年度から県に移すという大改革が行われようとしているが、権限を全て都道府県に集中し、一体的施策として医療費削減を強力に推し進めるための仕組みづくりにつながるのではとの懸念がある。

豊橋市の国保の現状と課題、認識について聞きたい。

答 本市の国保事業は、被保険者数8万8千人余りで、名古屋市中二宮市、豊田市に次いで県内で4番目に大きな保険者です。そして、保険給付の元となる医療費の費用額は、被保険者1人当たり30万9千円余りで県内54市町村中41番目と低い方であり、所得金額は1人当たり75万9千円余りで県内37番目です。また、国民健康保険税の調定額については、1人当たり10万3千円余りで県内9番目。同収納率は89.18%で53番目となっております。

総括すると、本市の国保事業は、地方の比較的大きな都市の

国保事業であり、被保険者の医療費、所得金額、収納率が低い反面、保険税の調定額が高く、これらの状況により、法定の保険税軽減措置を本市独自に拡大し、低所得世帯へ追加の負担緩和を実施しています。

以上の状況により、保険税の収納率改善と負担の緩和および医療費適正化を主要な課題として認識しています。

保険税が高いことについては、医療費、すなわち歳出に対する歳入不足が原因となりますので、収納率が低いことも要因の一つであると認識しています。

また、収納率が低いことについては、医療費が低い一方で所得も高くない本市では、所得に比べ医療費が高く、結果として保険税負担が重くなることなどが要因であると考えています。

その他の質問項目

・豊橋市の平和行政について

公共施設等の最適化の考え方について



公明党豊橋市議団
鈴木 義則 議員

問 豊橋市公共施設等総合管理方針における「縮充」の考え方とモデル事業を踏まえた今後の取り組みについて、および施設の最適化に向けた施設白書の活用について聞きたい。

答 本市における公共施設等総合管理方針は、公共施設等の最適化を目的とし、建物系については、質と量の適正化の取り組みとして、統廃合等の推進、遊休空間等の有効活用、施設の長寿命化を掲げており、その中で示している「縮充」とは、統廃合等の推進や遊休空間等の有効活用を進めるに当たり、単に面積を削減するのではなく、機能の複合化や集約化を実施し、あわせて利用者満足度の向上やコミュニティの活性化を図ることで、面積を縮小しながらも機能は充実させるというものです。

今後は、後世への負担軽減、持続可能なまちづくりを考え、具体的に適正化の取り組みを実行する必要があることから、地

域へ出向き、市民の方と意見交換を行う中で、モデル地区の設定も視野に入れ、平成32年度までに施設ごとに工事時期など、具体的な内容を定めた個別施設計画の作成をしたいと考えています。

また、今年度で作成予定の施設白書については、施設ごとの利用状況や運営にかかるコストなどの現状を整理しまとめるもので、貸し会議室等における実際の稼働率や施設ごとのコストを調査し掲載する予定です。これらを用いて類似施設間の比較・分析を行うことにより、公共施設の現状をよりの確に把握できると考えています。施設白書を通して市民と行政が共通認識の下で将来の施設の在り方に関する議論を進め、意見を個別施設計画に反映させるとともに、施設の複合化など更なる有効活用を検討するための基礎資料として活用し、公共施設の最適化につなげたいと考えています。

本市の母子保健支援施策について



日本共産党豊橋市議団
中西光江 議員

問 本市における産後うつ状況と対応について聞きたい。

また、国では産後うつ症状の早期発見や適切な受診のための支援などを図るとして、今年度から健診を受ける際の費用を助成することを決めたが、産婦健康診査による効果の認識について聞きたい。

答 産後うつについては、産科医療機関からの連絡票や乳児家庭全戸訪問などにより、産婦の精神的・肉体的な情報から把握に努めています。

平成28年度の産科医療機関から、産後うつとして連絡を受けたものは139件と、前年度の約2倍、育児ノイローゼは36件と、前年度の3倍に増加しています。このようなことから、今年度からは産後うつ状態を可能な限り把握できるようにするため、全ての産婦を対象に、乳児家庭全戸訪問に際して、エジンバラ産後うつ病質問票によるスクリーニングを実施し、必要に応じて助産師による養

育支援訪問につなげています。

また、現在ほとんどの産婦は、出産した医療機関で、おおむね産後1か月の健診を受診していると伺っています。この健診を受診することで、産後の母体の健康状態や、育児に対するストレス等を把握することが可能となることから、産後うつや児童虐待への予防といった観点で一定の効果があるというように認識しています。



その他の質問項目
子ども発達センターにおける事業の取り組みについて

一般質問

地下水の利用状況と

その対応について



自由民主党豊橋市議団
市原享吾 議員

問 安心して水を利用するために、水循環の一翼を担う地下水利用の保全などに関する今後の対応について聞きたい。

また、地下水を継続的に保全管理することは、極めて重要な課題であるが、地下水源を安定供給するための対策について聞きたい。

答 地下水利用の保全などに関する今後の対応については、地下水の利用者に対し、地下水の揚水量や水位の把握、有害物質を使用する事業者へ土壌汚染防止の指導などに取り組むとともに、地下水の利用者および団体を組織する豊橋市地下水保全対策協議会と連携し、地下水源の保全および地下水の適正かつ合理的な揚水管理などを行います。

また、市民、事業者、民間団体、行政で構成する東三河地域水循環再生地域協議会に本市も参画しており、水循環を再生するためにこれらの方々と連携・協働し、水環境の総合的な改善

に向け、行動計画の進ちよく確認や構成員相互の意見および情報交換を行います。

今後も、これらの取り組みや協議会の活動を通じて、地下水の適正利用や保全への対応に努めていきます。

地下水源を安定供給するための対策については、過去の度重なる渇水時に地下水源を活用してきましたが、運用状況が長期となったことが地下水の過剰揚水を招き、水質悪化を引き起こした経験を踏まえ、現在ではかん養抑制運用を行い、地下水源の保全に努めています。

今後も、きめ細やかな運用に心を配り、地下水源の安定供給に努めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・本市における生物多様性の保全とそ
の対応について

本市の社会福祉施設の

防災対策について



公明党豊橋市議団
尾林伸治 議員

問 厚生労働省の「社会福祉施設の非常災害対策計画の策定と避難訓練の実施の点検」に係る調査結果と、本年5月成立の『改正水防法』に対する課題認識と対応について聞きたい。

答 児童福祉施設等については、非常災害対策計画は、対象施設99か所のうち、内容が不十分な施設を含み58か所と、6割程度が策定しています。避難訓練については、火災等を想定した訓練は、おおむね全施設で行われていますが、特定の立地条件等による災害に備えた訓練を実施している施設は62か所の6割程度にとどまり、特に認可外保育施設の実施率は4割程度となつています。

障害者支援施設等のうち非常災害対策計画を策定している事業所は、対象施設124か所のうち34か所と3割弱程度であり、避難訓練の実施も31か所と3割弱となつています。

一方、介護保険施設等の非常災害

害対策計画の策定は、対象施設257か所のうち199か所と8割弱であり、避難訓練も139か所と、半数以上の事業所で実施済みであります。

本年5月『改正水防法』が成立したことにより、浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等の要配慮者利用施設の避難計画の策定と訓練の実施が義務化されるので、今後も継続的に、事業者に対する集団指導や個々の事業所での実地指導の場において、計画策定や訓練実施を促し、利用者の安心・安全な生活を支援していきたいと考えています。

その他の質問項目

・本市の特別支援教育について

本市の入札制度について

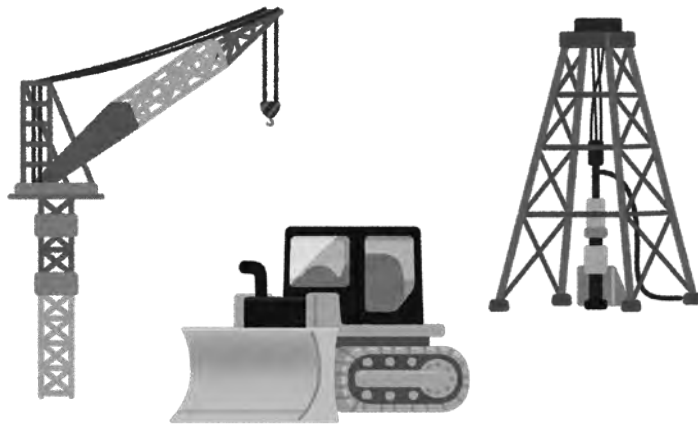
問 私は、最低制限価格制度および失格判断基準は健全で自由な競争を妨げるものとして強く反対しているが、最低制限価格の平均は平成28年度に予定価格の72%から86%へ拡大され、平成29年度には更に2%引き上げられ88%へと改正された。この改正を必要とした根拠を聞きたい。

答 総務省からの要請として、公共工事の円滑な施工の確保が求められており、本市独自に制定した公契約条例においても、労働者の労働環境と事業者の健全で安定した経営環境を確保する責務があります。

このことから、本市の公共工事等の入札状況や業種ごとの落札率の推移などの状況を根拠として、国からの要請や他都市の状況なども総合的に勘案する中で制度改正を行いました。



総基会
寺本泰之 議員



その他の質問項目

・高齢者社会参加援護事業について(平成29年度予算1億2341万円)

「自転車を楽しむまち」づくりについて

問 自転車ネットワーク路線の整備やサポート体制への取り組みについて、市内のみならず東三河地域等、広域的な取り組みにつなげることで、より効果的なものも多く存在すると思うが、自転車利用の広域化が進展している現状において、今後どのように取り組まれるのか、考え方を聞きたい。

答 これまでも東三河各市町村が連携して、観光情報の発信などに取り組んできましたが、新たな提案として、近年、全国で広がってきている「サイクルツーリズム」の観点から、テーマに沿った周遊ルートを設定し、自転車ネットワークで各市町村を結べば、全国的に広がる自転車利用者の多様なニーズに応えることができ、交流人口の拡大等につながると考えています。

また、そのためにも自転車利用者の休憩場所や故障対応など、サポート体制の構築も不可欠であり、自転車ネットワーク



まちフォーラム
廣田 勉 議員

拡大にあわせたサイクルスポットの整備を充実することで本格的な自転車利用者にとって安心して楽しむことができる「サイクルツーリズム」がこの地に根付くものと考えます。加えて「サイクルツーリズム」の更なる展開として、現在でも自転車を持ち込み可能な渥美線のように、鉄道を利用するコース設定ができれば、JR飯田線との連携により、奥三河を巡り、リニアの駅となる飯田地域や、また、天竜浜名湖鉄道を使えば天竜地域の景勝などを楽しむことができ、そのつながりは三遠南信地域を網羅することになります。そのためにもまずは東三河の各市町村が連携し、そのうえで鉄道事業者や観光関係者と協議を進め、自転車を切り口とした地域振興に取り組む必要があるものと考えています。

その他の質問項目

・ICTを活用したまちづくりについて

一般質問

権利としての

LGBTへの認識について



日本共産党豊橋市議団
齋藤 啓 議員

問 権利としてのLGBT(性的マイノリティ)への基本認識を聞きたい。また、当事者の人権が十分に守られていないことへの認識、取り組みの達成度合い、「とよはしハーモニープラン」(豊橋市男女共同参画行動計画)での検討、学校現場での対応について聞きたい。

答 本市は、豊橋市男女共同参画推進条例を定め、一人一人の人権を尊重し、性別や年齢にかかわらず能力を発揮でき、多様性を認め合える環境整備を進めています。性的少数者の方も社会の一員として、当然権利は保障されるべきであり、安心して暮らせる環境づくりが重要と考えますが、現状では実態を把握しきれておらず、当事者の方々の権利について判断できる段階ではありません。

また、取り組みとしては、昨年度本市として初めて市職員、教職員、市民の方を対象にした講演会を実施し、対策を始めたところであり、まずはLGBT等への理解を深めていただくことからと考えています。

ハーモニープランでは、基本目標として掲げている「人権を尊重した男女共同参画意識の高揚」と「安心できる生活環境の整備」の中に位置づけ、さまざまな方と連携し、進めていきたいと考えています。

学校においては、LGBTに限らず、特別な支援を要する児童生徒の悩みや不安を受け止め、支援をしていくことが、本市の教育理念の根幹「二人一人の児童生徒を大切にする」につながることから、研修会や広報誌などを通じて、教職員に正しい理解や適切な支援の周知を図っていきます。

その他の質問項目

・子どもの貧困について
・総合体育館と「新アリーナ」を核としたまちづくりについて

東京五輪・メダルプロジェクトについて



公明党豊橋市議団
宮澤佐知子 議員

問 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」(TOKYO2020)がスタートしたが、本市の小型家電リサイクルとメダルプロジェクトに対する取り組みについて聞きたい。

答 本市の小型家電リサイクルの取り組みとしては、従来から「こわすごみ」や「回収ボックス」などに排出する方法などにより回収・分別し、小型家電リサイクル法による認定事業者に売却をすることで、循環型社会の構築に努めているところです。

そのような状況の中、このたび環境省を通じて、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より、メダルプロジェクトへの参加意向照会と合わせ、収集要件について提示があったことから、その内容を検討した結果、現在の小型家電リサイクルの方法を大きく変更することなく参加可能であること、また本プロジェクトがメダルをつくることだけでなく、プロジェクト終了後も小型

家電の回収文化を根付かせることも目的であることが確認できたことから、本プロジェクトの趣旨に賛同し、参加していきたいと考えています。

今後は、小型家電リサイクル法の認定事業者との契約や、回収ボックスなどの準備を進め、整理ができ次第、従来の方法に加え、メダルプロジェクトとして小型家電回収に取り組んでいきたいと考えています。



その他の質問項目

・自然史博物館における学芸員の役割と博物館資料の活用等について

市役所内の障がい者の雇用について



自由民主党豊橋市議団
 近藤喜典 議員

問 豊橋市役所庁内障害者ワークステーションわくわくが、各課の業務遂行に対して、もたらした変化や効果、および市役所内の障がい者雇用における今後の課題について聞きたい。

答 わくわくは、これまで各課で個別に対応してきた軽易な業務を1か所に集約し、市役所内に障害者の就業場所を確保することで、障害者の雇用を進めるとともに、業務の効率化を図ることを目的に設置し、順調に業務量をふやしています。

各課にもたらした変化や効果としては、大量な会議資料の印刷や製本作業など人手が取られる仕事を請け負うことから、各課の職員の負担軽減になっているという声が多く寄せられており、当初の目的であった、わくわくを通して障害者の就労に対する理解を深め、協力していくという段階にとどまらず、わくわくという存在が、各課の業務の効率化に役立っているという実感を広げつ

つあり、同じ市役所で働く仲間といった連帯感も着実に根付き始めていると考えています。

今後の課題として、通常一般の事業所での就労を目指す障害者に対しては、相談支援事業所が作成するサービス等利用計画に基づく就労移行支援が、障害福祉サービス事業者において行われており、わくわくも民間企業への就労ということも視野に入れていることから、わくわくスタッフの個別の就労支援に関して、ハローワークや障害福祉サービス事業者との情報交換の場を設けていく必要があると考えています。



次回 9月定例会 開催予定

月日	時間	会議	場所
8月 28日(月)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
29日(火)		請願・陳情締切り(~17時まで)	
9月 1日(金)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
4日(月)	10時	● 本会議(一般質問など)	議場
5日(火)	〃	〃 (〃)	
6日(水)	〃	〃 (〃)	
13日(水)	10時 13時	常任委員会(議案審査など)	第2委員会室
14日(木)	10時 13時	〃	
15日(金)	10時	一般会計予算特別委員会(補正予算審査など)	
19日(火)	10時	決算特別委員会(決算審査など)	第1委員会室
20日(水)	〃	〃	
22日(金)	〃	〃	
25日(月)	〃	〃	
28日(木)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
29日(金)	13時	本会議(議決など)	議場

議会を動画で見よう!

● マークの日に、本会議の映像を、ケーブルテレビ・インターネットで中継しています。また、過去の映像はインターネットで録画配信しています。市議会ホームページからアクセスしてください。

議会を議場で見よう!

豊橋市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。本会議の傍聴をご希望の方は、議会開催日に、豊橋市役所西館8階の傍聴者受付までお越しください。

議会を読もう!

市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。ぜひ、皆さんの生活に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会に参加しよう!

豊橋市議会に対して、陳情等を提出することができます。お手続きに関しては、議会事務局議事課(電話51-2920)へお問い合わせください。

● 議会運営委員会室、第1委員会室、第2委員会室⇒西館7階 ● 議場⇒西館8階
 ※日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局議事課(電話51-2920)までお問い合わせください。

特集

豊橋のまちづくり わがまちの未来を考える

少子高齢化が今後も見込まれる中、計画的なまちづくりが必要となってきました。
今回は市議会ならではの視点から、将来の豊橋市のまちづくりについて考えます。

豊橋市のまちの現状

豊橋市の人口は平成22年以降、減少に転じており、今後も減少が見込まれています。特に豊橋駅周辺の中心市街地や市電沿線ではかなりの人口が減少し、このままでは人口が大きく減り始める前にまちのにぎわいや活力が失われ、公共交通を維持できなくなるおそれがあります。

また、市街地全域で高齢化が進行しており、増加する高齢者の暮らしを支えていくためにも、今後の豊橋市を見据えた、計画的なまちづくりが必要になってきています。

都市拠点・地域拠点

そのような中、平成28年11月21日に建設消防委員会で「豊橋市立地適正化計画(案)」について調査・研究が行われました。この計画では、持続可能なまちづくりを行っていくために、豊橋駅周辺に、商業施設や行政機関、総合病院等が集積する「都市拠点」を、市街化区域内において生活圏の中心となる「地域拠点」を複数の地域に定め、

それぞれの拠点に適した施設を誘導していくことが示されました。また拠点同士を電車やバスなどの公共交通で結ぶことにより、市民の皆さんが歩いて暮らせるようなまちを目指していくとのことでした。同委員会では、委員から「5年ごとに計画を評価するとあるがエリアの拡大などは想定されるか」「市民周知をどのように進めていくのか」といった質疑や、「地域のつながりや歴史も踏まえて計画を進めるべき」「公共交通がない地域もあることから、地域のバスやタクシーなどと連携しながら

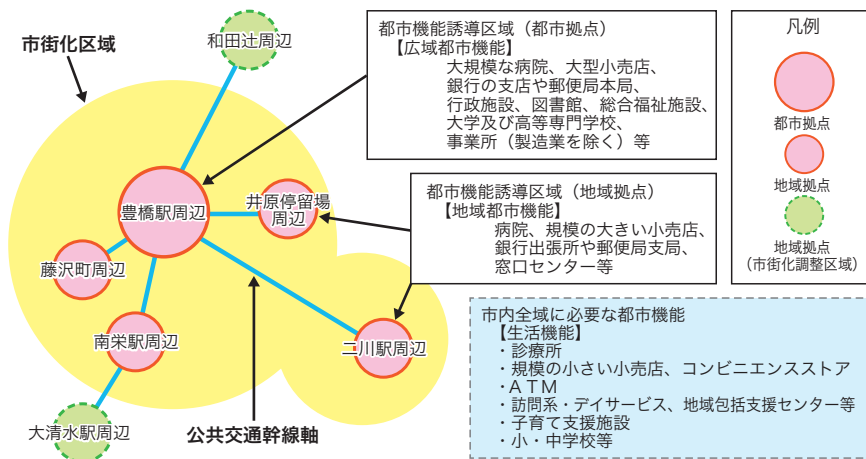
取り組んでいってほしい」などの意見が出ました。

居住誘導区域について

昨年度は都市拠点・地域拠点を中心に議論をしましたが、今年10月には市民の皆さんにとってより身近な居住誘導区域について、建設消防委員会を開催する予定です。わがまちの未来を考えるきっかけとしてぜひ傍聴にお越しください。

●委員会の開催有無、日程などは議会事務局議事課(電話51-2920)までお問い合わせください。

各誘導区域設定イメージ



若松彌株式会社
http://wakamatsuyacars.com

ダイハツ西豊橋
愛知県豊橋市大村町字大賀里64-1
TEL(0532)-51-0511

ダイハツ東
愛知県豊橋市中原町字東山71-1
TEL(0532)-41-5911



Volkswagen 豊橋下地

〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字境田93
代表 TEL:0532-53-8511 FAX:0532-53-8566
http://www.volkswagen.jp/toyohashishimoji/



※豊橋市議会だよりに掲載する広告を募集しています。(広告掲載の申込に要する費用は、広告主負担とします。)
広告の申込先:マス株式会社 豊橋営業所 電話番号:0532-87-4014